

# 令和 5 年度 技術・家庭科(技術分野) シラバス

## 1 学年

### ◆ 技術分野の目標 ◆

ものづくりなどの実践的・体験的な学習活動を通して、材料と加工、エネルギー変換、生物育成及び情報に関する基礎的・基本的な知識及び技術を習得するとともに、技術と社会や環境とのかかわりについて理解を深め、技術を適切に評価し活用する能力と態度を育てる。

### 【学習内容】

技術分野は、「A 材料と加工の技術」、「B 生物育成の技術」、「C エネルギー変換の技術」、「D 情報の技術」の4つの領域で構成されています。各領域において、一人ひとりが学習できるように教材・教具を用意し、製図、製作、整備、操作などの実習を通して、実践的・体験的な学習活動を進めていきます。

### ◆ 3 年間での学習 ◆

- |      |   |            |
|------|---|------------|
| 1 年生 | ガイダンス、生物育成に関する技術を利用した栽培、材料と加工に関する技術を利用した製作品の設計・製作 | 合計 35 時間   |
| 2 年生 | エネルギー変換に関する技術を活用した製作品の設計・製作、情報とコンピュータ             | 合計 35 時間   |
| 3 年生 | プログラムによる計測・制御作品の設計・制作、情報セキュリティーとモラル               | 合計 17.5 時間 |

### 【授業の約束や用意するもの】

技術科では機械類、刃物類、電気、コンピュータなどを取り扱って実習するため、安全に充分留意するとともに、危険のない行動を進んでできるようにしましょう。また、教科書、学習ノート、タブレット、その他指示されたものは毎回持ってくるようにしましょう。

### 【評価の観点・方法・基準】 次の3つの観点で評価をします。

#### ( 1 ) 「知識及び技能」

作業や実習計画案への積極性、毎時間の学習の取り組み状況（発言等）、作品の製作や実習を通して、基本的な技術が身についたかどうかをレポートやテスト等で評価します。また、その技術を生活に生かしていくことができるかを学習過程における技術の習熟度状況、完成するまでの作品や実技テスト、自己評価などで評価します。

#### ( 2 ) 「思考力・判断力・表現力」

生活の中から材料と加工の技術と安全に関わる問題を見いだして自ら課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、レポート等で表現するなどして課題を解決する力を評価します。

#### ( 3 ) 「主体的に学習に取り組む態度」

安全な生活や社会の実現に向けて、課題の解決に話し合い等で主体的に取り組んだり、振り返って改善したりしていることを話し合い活動やレポート、自己評価、定期テスト等で評価します。

1 年生では、はじめにガイダンス（3年間を見通した学習内容の説明等）を受け、生物の育成を学び、実際に植物を育成します。さらに材料と加工の技術では木材加工を行い、製図を含め、木工加工の基礎的知識および技能を習得します。

☆ 年間計画 ☆

月	章	学習内容	学習のねらい
4	ガイダンス	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 3年間の技術・家庭科の内容について</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 技術・家庭科の学習内容について理解する</li> <li>・ 学習の準備物・心得について理解する</li> <li>・ 技術の進歩や情報の働きなどを理解する</li> <li>・ 丈夫な構造を工夫し、より良いものづくりについて考える</li> </ul>
5	生物育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 生物の生育環境と育成技術</li> <li>○ 生物育成に関する技術を利用した栽培</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生物の育成に適する条件と、育成環境を管理する方法を理解する</li> <li>・ 生物育成に関する技術を理解する</li> <li>・ 栽培を生活に生かすことができる</li> </ul>
6	材料と加工に関する技術	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 身の回りの木製品を調べよう</li> <li>○ 制作品の決定</li> <li>① 制作品の材料について</li> <li>② 製図の基本について</li> <li>③（等角図、正投影図）の書き方</li> <li>○ ④ 設計図の完成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 木製品の機能はたらきについて理解する</li> <li>・ 木製品をつくる上での工夫について調べる</li> <li>・ 材料の性質や加工法について理解する</li> <li>・ 木製品と金属、プラスチックの違いについて調べる</li> <li>・ 機能・使用条件を考慮した作品にする</li> <li>・ いろいろな材料について考える</li> <li>・ 個々に応じて工夫する点を考える</li> </ul>
7 9	技術	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 構想図通りに制作しよう</li> <li>① 板にけがきをする</li> <li>② けがき線に沿って切断する</li> <li>③ 部品を加工する</li> <li>④ 組み立てをする</li> <li>⑤ やすりがけで仕上げをする</li> <li>⑥ 塗装をする</li> <li>⑦ 製作のまとめ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 材料表を作製できる</li> <li>・ 工程表を作製できる</li> <li>・ 製作に必要な工具について調べることができる</li> <li>・ きちんと材料取りができる</li> <li>・ 道具を正しく使用できる</li> <li>・ 塗装の目的を理解する</li> <li>製作を終え今後の課題を考える</li> </ul>
1 0	まとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 技術を受けてきてのまとめ</li> <li>① 生活と資源との関わり</li> <li>② エネルギーの利用の仕方</li> <li>③ 技術と環境の関わり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 製品に使われている資源について理解する</li> <li>・ 製品を製作するために利用されているエネルギーを理解する</li> <li>・ 限りある資源をどのように使うか考える</li> <li>・ 環境に優しい生活ができるように生活を工夫できる</li> </ul>